

東京のMICE施設機能向上とその課題

2012/12/21

森ビル株式会社

取締役副社長執行役員 山本和彦



六本木ヒルズで開催のMICE案件

MICE案件数 2,500件/年
MICE目的来場者数 24万人/年

ベニユー

屋外での大型イベントが可能
六本木ヒルズアリーナ
大屋根プラザ

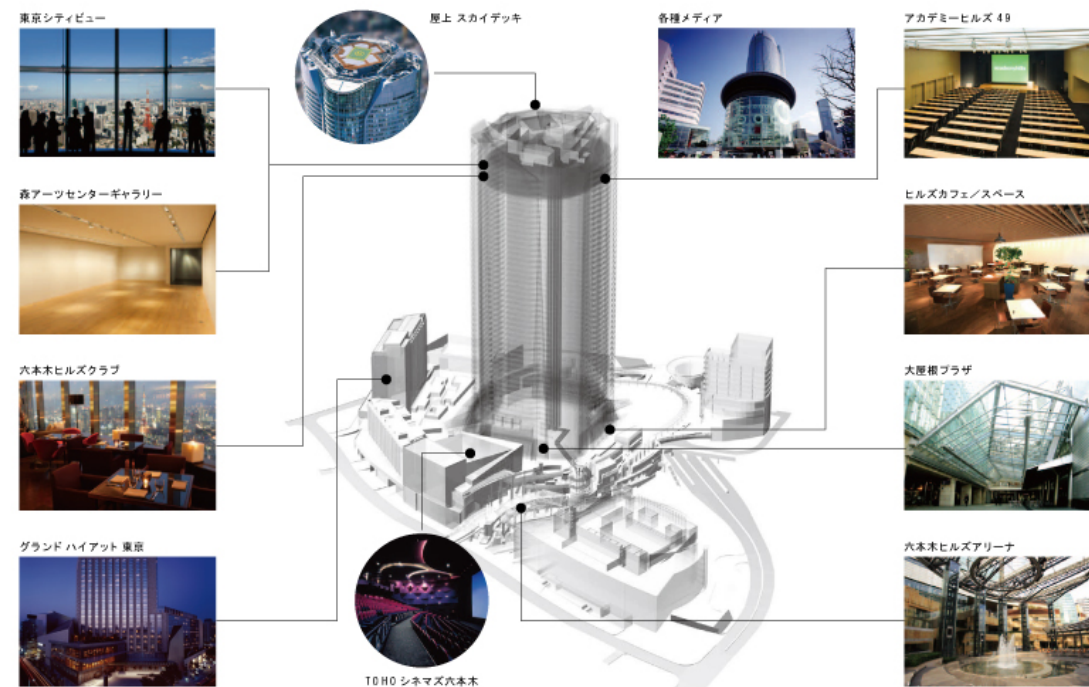
来街者、顧客やプレス向けイベントが可能
ヒルズカフェ/スペース
六本木ヒルズクラブ

眺望を最大限に活かしたパーティや商品展示に最適
東京シティビュー
森アートセンターギャラリー

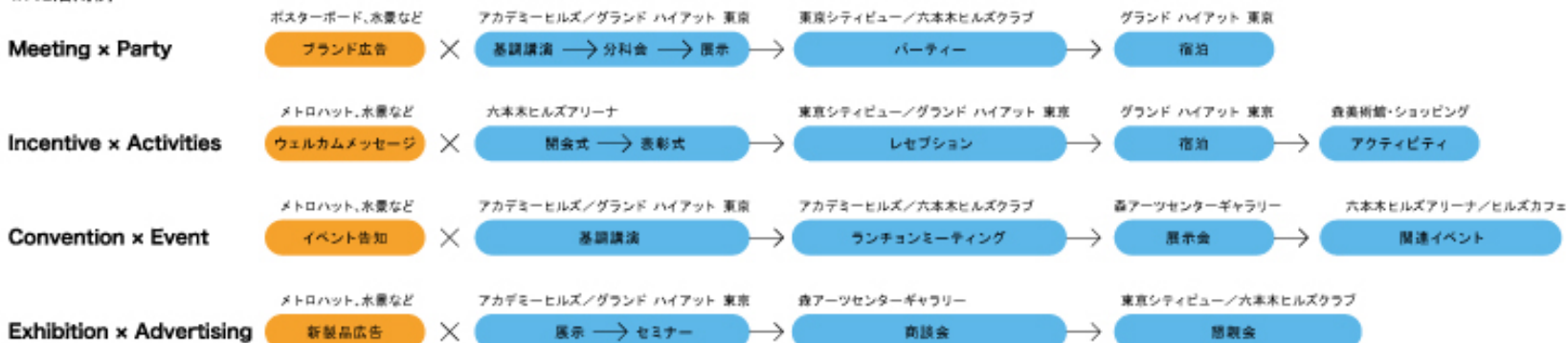
ミーティングや会議、展示会などに最適なフォーラム施設
アカデミーヒルズ
グランドハイアット 東京

メディア

イベントと連動し街全体を巻き込んだ広告展開が可能。
メトロハット、コルトンボックス、ポスターボード、映像 など



MICE活用例



「Oracle Open World Tokyo 2012」(Java One併催)

【JavaOne】 2012年4月4日～5日

開催場所 アカデミーヒルズ

内容 キーノート、ブレイクアウトセッション、BoF、ハンズオン、ブース展示、
OTN Lounge、オンラインセッション

【Oracle Open World Tokyo 2012】 2012年4月6日

開催場所 アカデミーヒルズ、グランドハイアット東京、ヒルズカフェ、
ベルサール六本木

内容 (上記に加えウエスティン京都、米国オラクル本社と中継環境構築有り)
基調講演、ゼネラルセッション、スポンサーセッション、オラクルセッション、展示

© Oracle Open World Tokyo 2012



六本木地区3施設を一体利用



メトロハットでウェルカム感の創出



街中をジャックし会議をアピール



基調講演/ベルサール六本木



セミナー/アカデミーヒルズ



展示会/グランドハイアット東京

「第25回東京国際映画祭」

- 【主催】 公益財団法人ユニジャパン
- 【共催】 経済産業省、東京都
- 【期間】 2012年10月20日(土)～28日(日) 9日間
- 【開催会場】 六本木ヒルズをメイン会場に、都内の各劇場および施設・ホール

25th TIFF 東京国際映画祭
October 20-28, 2012



グリーンカーペット/けやき坂



© TIFF2012



オープニングセレモニー/六本木ヒルズアリーナ



スポンサー展示/大屋根プラザ



記者会見・ムービーカフェ/ヒルズカフェ&スペース



シンポジウム/アカデミーヒルズ

推進検討中のMICE施設-1

【環状2号線Ⅲ街区プロジェクト】

霞ヶ関・大手町・六本木にも近接し、海外へのゲートウェイ羽田国際空港からも好アクセス。
国際的な情報発信や交流、官と民、企業と人々をつなぐHUBとして、エリア最大級のカンファレンスセンターを設置。

【プロジェクト概要】

竣工時期：2014年秋(予定)

用途：事務所、住宅、ホテル、店舗、
カンファレンス、駐車場

階数：地上52階、地下5階

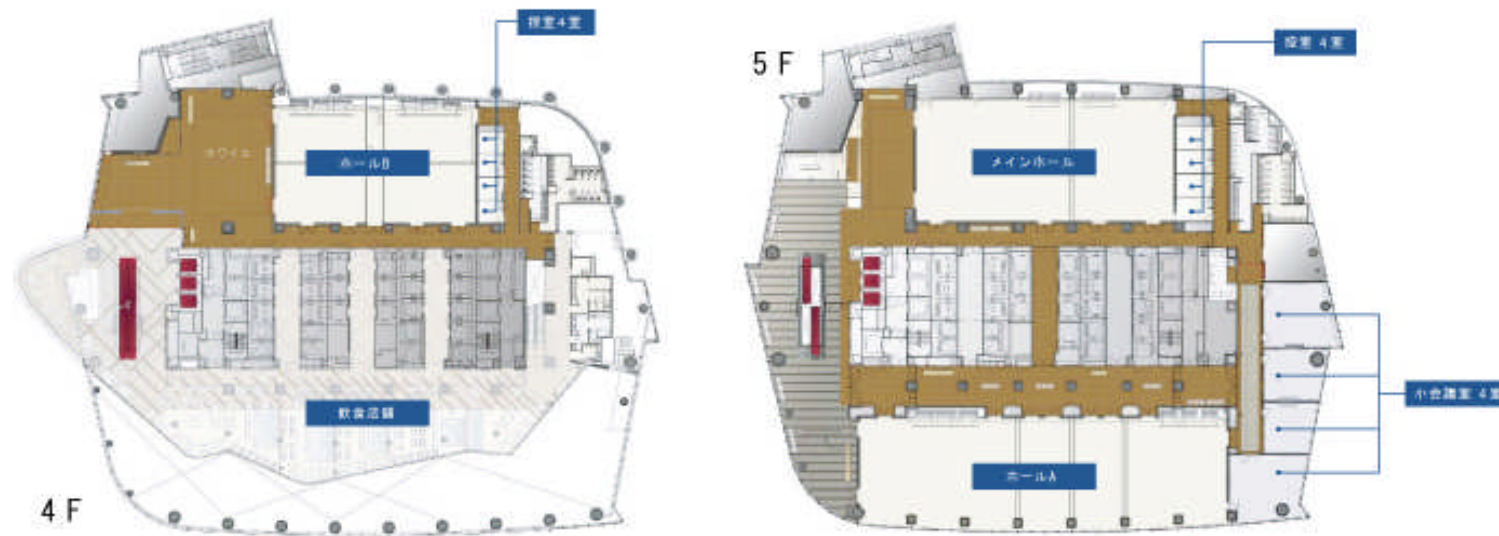
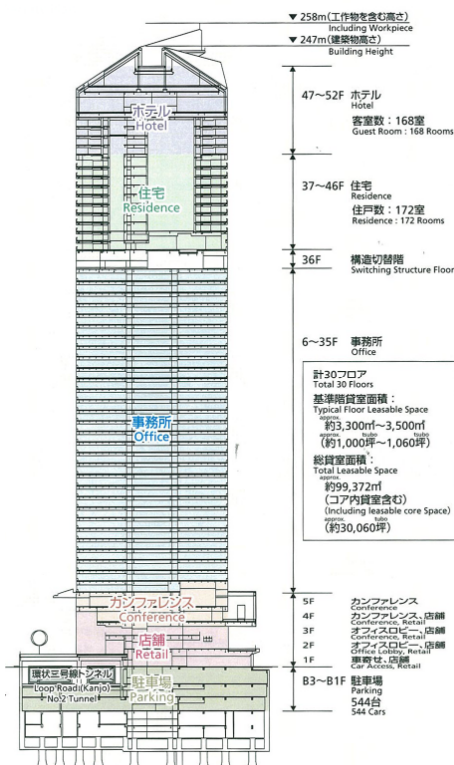
住所：港区虎ノ門1丁目202番地1他



【カンファレンス施設 スペック表】

フロア	会場名	面積	天井高	最大収容人数				分割対応
				スクール	シアター	立食	口の字	
5階	メインホール	590.9㎡	7.2m	504	744	530		2分割対応(355.9㎡/235.0㎡)
	ホールA	755.0㎡	4.0m	396	792	720		2分割対応または3分割対応
	小会議室1	89.9㎡	3.0m	45	80		30	分割なし
	小会議室2	69.7㎡	3.0m	24	42		24	分割なし
	小会議室3	49.5㎡	3.0m	24	42		24	分割なし
	小会議室4	98.3㎡	3.0m	36	70		30	分割なし
4階	控室1	33.2㎡	3.0m				12	2分割対応(16.6㎡/16.6㎡)
	控室2	32.7㎡	3.0m				12	2分割対応(16.6㎡/16.1㎡)
	ホールB	434.2㎡	4.0m	357	460	360		2分割、4分割対応
	控室1	22.4㎡	3.0m				12	2分割対応(11.2㎡/11.2㎡)
	控室2	22.4㎡	3.0m				12	2分割対応(11.2㎡/11.2㎡)

※上記内容は全て現時点での予定であり、今後変更される可能性があります。
ご提供条件を約束するものではありませんので、あらかじめご了承ください。



□MICE施設整備、運営にあたっての支援

- ・低廉な価格での土地提供
- ・建設イニシャルコストに対する補助金の交付、利子補給
- ・ランニングコスト低減のための固定資産税等の減免
- ・保税展示の申請の簡略化

□街の魅力を活かしたMICE誘致の仕組み

- ・民間施設と公共施設(道路空間や公園)を一体的に活用できる仕組み(占用許可の弾力化等)
- ・イベント出店にかかる規制緩和(展示会場での調理行為の制限、飲食ブース出店)
- ・「検討可能」はナンセンス。誘致競争にはクイックレスポンスが必要
- ・海外事例に見られるような総合カジノ・商業施設等との一体事業の実現
- ・誘致支援の強化と、開催支援の仕様用途の拡大等の仕組みの強化

□MICE参加者の利便性向上

- ・入出国審査の迅速化
- ・街全体での外国語対応
- ・無料wifiの導入

海外では、「MICE施設が都市の産業育成、観光客の誘致等に大きく寄与し、税収増大に繋がる」といった視点から、国策として整備、運営が行われているほか、グローバルニーズに対応するMICE施設(複合施設化)の整備が進んでいる。

施設整備による経済波及効果の観点から、長期的な税収増加に視点を向け、官または地方公共団体が、それに見合う投資をすべきと思われる。

【MICE受入環境の整備とMICE誘致の仕組みの確立が必要】

- ・MICE施設およびそれに係るホテル、エンターテインメント施設などの一体的な対応が必要。
- ・大型のMICE施設はその特徴から、官または地方公共団体の設置が望まれる。
- ・ホテル、エンターテインメント施設等は、サービス力のある民の運営が望まれる。
- ・継続的なMICE事業の為に、支援、税金の減免等の検討が必要。
- ・魅力ある実施の為に、規制緩和が必要。
- ・規制緩和は、明文化することが必要。



官民の密接的な連携と役割分担が重要となる